

造林事業請負契約書（案）

- 1 事業名

造林事業(地拵外3)請負
- 2 履行場所

鹿児島県鹿児島市
前之浜国有林8よ林小班外30
別冊 図面のとおり
- 3 事業内容

地拵作業7.30 ha
- 3 事業内容

植付作業7.30 ha
- 下刈作業77.54 ha
- 林道除草作業0.90 ha
- 計93.04 ha
- 4 事業期間

自 令和〇年〇〇月〇〇日（契約締結日の翌日）
至 令和9年2月26日
- 5 作業仕様書

別冊、作業仕様書のとおり
- 6 請負金額

金〇, 〇〇〇, 〇〇〇円
（うち取引に係る消費税及び地方消費税額 金〇〇, 〇〇〇円也）
- 7 選択条項

別冊約款中選択される条項は次のとおりである。
（選択されるものは○印、削除されるものは×印）

適用削除の区分	選 択 事 項		選択条項
×	契約保証金の納付		第4条第1項第1号
×	契約保証金の納付に代わる担保となる有価証券等の提供		第4条第1項第2号
×	銀行、甲が確実と認める金融機関等の保証		第4条第1項第3号
×	公共工事履行保証証券による保証		第4条第1項第4号
×	履行保証保険契約の締結		第4条第1項第5号
×	支給材料及び貸与品		第15条
×	前金払	分の 以内	第35条第1項
×	中間前金払		第35条第3項
○	部分払	1回以内	第38条
×	国庫債務負担行為に係る契約の特則		第40条

（注）国庫債務負担行為に係る契約にあっては、別紙を添付する。

8 支給材料及び貸与物件

品 名	品質規格	数 量	引渡予定場所	引渡予定月日
結束バンド		400本	鹿児島森林管理署	契約締結日
アンカー杭		100本	〃	〃
補修糸	200m	1巻	〃	〃

9 特約事項

- (1) 別紙、特記仕様書のとおり
- (2) 使用材料は、別紙、請負使用材料規格内訳書のとおりとし、請負者が購入するものとする。

上記請負事業について、発注者 分任支出負担行為担当官 鹿児島森林管理署長 香月英伸と請負者〇〇〇〇は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び九州森林管理局長の定める国有林野事業造林事業請負契約約款及び造林事業請負標準仕様書によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、請負者が共同事業体を結成している場合には、請負者は、別紙共同事業体協定書により契約書記載の業務を共同連帯して実施する。

本契約の証として本書2通を作成し、双方記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

発注者（甲）住所 鹿児島県鹿児島市浜町12-1
分任支出負担行為担当官
鹿児島森林管理署長 香月 英伸

請負者（乙）住所 〇〇県〇〇〇〇
〇〇林業株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇

〔注〕請負者が共同事業体を結成している場合においては、請負者の住所及び氏名の欄には、共同事業体の名称並びに共同事業体の代表者及びその構成員住所及び氏名を記入する。

請負者 〇〇共同事業体

代表者	〇〇林業株式会社
住所	〇〇県〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇 〇〇県〇〇〇〇 〇〇林業株式会社
住所	〇〇県〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇 〇〇県〇〇〇〇 〇〇林業株式会社
住所	〇〇県〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇

作業内訳書

作業種	林小班	作業区分 (下刈年次)	区域面積 (ha)	控除面積 (ha)	契約面積 (ha)	作業期間		使用材料		獣害防 止ネット の点検 等	備考
						自	至	品名	数量		
地 拵	8よ	組合せ	2.88		2.88	契約締結日 の翌日から	令和9年 2月26日	無	無	—	谷山
〃	8れ	組合せ	4.42		4.42	〃	〃	〃	〃	—	〃
小 計			7.30		7.30						
植 付	8よ	正方形植	2.88		2.88	契約締結日 の翌日から	令和9年 2月26日	スギコンテナ苗	5,200本	—	谷山
〃	8れ	正方形植	4.42		4.42	〃	〃	〃	8,000本	—	〃
小 計			7.30		7.30				13,200本		
下 刈	24ほ	全刈(3)	4.53		4.53	令和8年 6月1日	令和8年 9月30日	無	無	無	谷山
〃	48に	全刈(3)	4.77		4.77	〃	〃	〃	〃	無	〃
〃	9に	筋刈(3)	3.49		3.49	〃	〃	〃	〃	無	〃
〃	9に1	筋刈(3)	0.27		0.27	〃	〃	〃	〃	無	〃
〃	9へ1	筋刈(3)	3.36		3.36	〃	〃	〃	〃	無	〃
〃	9と	筋刈(3)	0.59		0.59	〃	〃	〃	〃	無	〃
〃	29ち	全刈(3)	0.46		0.46	〃	〃	〃	〃	無	〃
〃	29る1	全刈(3)	2.62		2.62	〃	〃	〃	〃	無	〃
〃	29わ	全刈(3)	2.43		2.43	〃	〃	〃	〃	無	〃
〃	22わ	全刈(3)	2.14		2.14	〃	〃	〃	〃	無	〃
〃	24く	筋刈(2)	1.24		1.24	〃	〃	〃	〃	無	〃
〃	24や	筋刈(2)	1.11		1.11	〃	〃	〃	〃	無	〃
〃	25は	筋刈(2)	4.08		4.08	〃	〃	〃	〃	無	〃
小 計			31.09		31.09						
下 刈	65の	全刈(4)	1.04	0.25	0.79	令和8年 6月1日	令和8年 9月30日	無	無	有	郡山
〃	59や	筋刈(4)	4.88		4.88	〃	〃	〃	〃	有	〃
〃	59よ	筋刈(4)	5.19		5.19	〃	〃	〃	〃	有	〃
〃	60こ1	全刈(4)	1.94		1.94	〃	〃	〃	〃	有	〃
〃	63な	筋刈(3)	5.49	0.35	5.14	〃	〃	〃	〃	有	〃
〃	2001と	筋刈(4)	4.40	0.76	3.64	〃	〃	〃	〃	有	〃
〃	59ほ	筋刈(4)	1.01		1.01	〃	〃	〃	〃	有	〃
〃	63う	全刈(1)	2.01	0.40	1.61	〃	〃	〃	〃	無	〃
〃	63つ	全刈(1)	2.14		2.14	〃	〃	〃	〃	無	〃
〃	63つ2	全刈(1)	4.41		4.41	〃	〃	〃	〃	無	〃
小 計			32.51	1.76	30.75						
林道等除草作業	立和名林道	全刈	0.90		0.90	令和8年 6月1日	令和8年 9月30日	無	無	—	郡山
小 計			0.90		0.90						
合 計			79.10	1.76	77.34						

【留意事項】1. 作業種、林小班、作業区分毎に記入すること。

2. 使用材料については、品名、数量を記番毎に記入すること。

3. 各作業毎の作業方法は、作業区分の欄に記入すること。

4. 使用材料がある場合は、使用材料規格内訳書を添付すること。

特 約 事 項 内 訳 書

記入 番号	林小班	作業種	作業区分	契約面積	使 用 材 料 等			備考
					品 名	品質規格	数量	
	8よ	植付	普通 方形植	2.88	林業用 スギ苗木	コンテナ苗【MC苗】鹿児島県産 根元径5.0mm上 苗長35cm上 花粉の少ない苗木	5,200本	
	8れ	植付	普通 方形植	4.42	林業用 スギ苗木	コンテナ苗【MC苗】鹿児島県産 根元径5.0mm上 苗長35cm上 花粉の少ない苗木	8,000本	
計				7.30			13,200本	

特 記 仕 様 書

○国土強靱化関連事業における工事看板の取扱いについて

次のとおり工事看板に国土強靱化対策事業であることを記載し、地域住民等に対して発信することとする。

1 工事看板の記載内容

工事看板に事業内容及び国土強靱化対策事業であることを簡潔に記載する。

記載文章

適切な森林管理のため(間伐/地拵/植付/下刈/除伐)を行っています 国土強靱化対策事業
--

2 留意事項

標準仕様書により設置を義務付けしている看板等とは別に、新規で看板を製作することは不要。これまで設置していた看板等に、文章を追加することとする。

仕様書（１）

造林事業一般仕様書

- １．作業の実施に当たっては誠意を旨とし、仕様書、作業内訳書、作業予定表、図面にに基づき実施するものとする。
- ２．作業方法等の細部については監督職員の指示に従うこと。
- ３．仕様書及び図面等に疑義がある時は監督職員の指示に従うこと。
- ４．本作業に除草剤又は灯油を使用する場合の取扱い、並びに作業方法については、別紙、除草剤使用仕様書又は灯油使用仕様書によること。
- ５．本作業実施のため、支給を受けた場合の支給材料は、発注者の定める様式により記番別に受払関係を時系列に記帳して使用状況を明らかにし、発注者又は監督職員から提示を求められときは異議なく応諾し、検印を受けること。
なお、作業が完了（一部完了を含む）し検査を請求する場合は、完了届と同時に発注者に提出すること。
- ６．本作業実施のため、物品を購入した場合は、購入物品（苗木、除草剤、薬剤、シカネット等）を発注者の定める様式により記番別に受払関係を時系列に記帳して使用状況を明らかにし、発注者又は監督職員から提示を求められときは異議なく応諾し、検印を受けること。
なお、作業が完了（一部完了を含む）し検査を請求する場合は、完了届と同時に発注者に提出すること。
- ７．作業実施のための諸施設及び労務者の管理等については、労働関係法令を遵守すること。
- ８．作業地の火災防止に万全の措置を行い、不注意により失火しないよう注意すること。
- ９．作業が終了したときは、監督職員の指示に従い作業現場の片付けを行うこと。
- １０．仕様書等に明記しない作業で、本作業の実施に必要な諸作業は、請負者の負担において行うこと。

地拵作業仕様書

1. 作業方法等

作業区域内の雑草木は、保残を標示または指示されたものを除き、可能な限り地際から刈払うこと。

（１） 枝条存置地拵

末木枝条等は、局部的に集積することなく全面にばらまき、できるだけ地表面に密着するよう存置すること。

（２） 枝条筋置地拵

末木枝条等は、指定された方向に筋状に１ｍ以下の高さに棚積みすること。

この場合、適宜杭を打ち、風雪等により崩れないよう処置すること。

植巾及び末木枝条等の置巾は、監督職員の指示によること。

（３） 坪地拵

植穴位置を中心として、概ね半径５０ｃｍの雑草木を刈払い末木枝条を整理すること。

苗間及び列間については、監督職員の指示によること。

（４） 組合せ地拵

同一区域内で、複数の地拵方法を組合せる場合の作業要領は、上記（１）～（３）に準ずること。

2. 溪床の末木枝条処理

末木枝条処理がある場合は、流出のおそれのない溪流敷外に除去すること。

なお、焼却を指示した場合の火入れ手続き、作業方法等については、監督職員の指示に従うこと。

3. 立木の巻枯し

立木の巻枯しの必要な場合は、監督職員の指示により実施すること。

4. その他

その他必要な事項については、監督職員の指示に従うこと。

コンテナ苗木植付作業仕様書

1. 苗木の購入及び検収

- (1) 請負者は、発注者の指定する樹種及び規格の苗木を購入し、苗木の輸送日及び仮植地等について監督職員と協議し、仮植地又は監督職員が指定する場所において監督職員の検収を受けること。
- (2) 苗木の検収については、九州森林管理局が別途定める検収要領に基づき検収することとし、検査によって生じた本数不足及び不合格苗木については、請負者の責任において優良な苗木を確保すること。

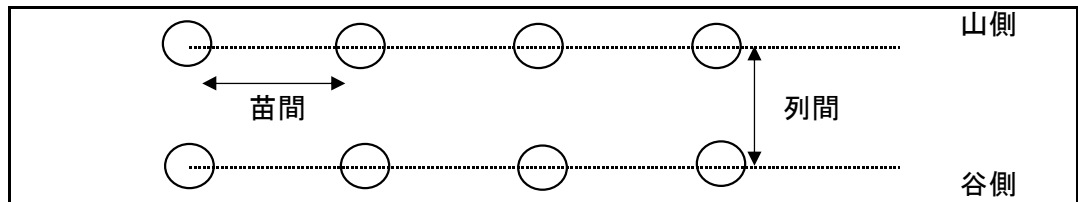
2. 苗木の管理

- (1) 検査を受けた苗木は植付場所に近い日陰で、水害等の被害の恐れのない所に保管すること。
- (2) 苗木は保管場所に立てて寄せ並べ、必要に応じ、こも、シート等で直射日光を遮断し灌水するなど、苗木の乾燥防止について十分な措置を講ずること。

3. ha当たりの植付本数及び苗木の植付間隔

植付樹種	ha当たりの植付本数	苗木の植付間隔 (水平距離) m		適用林小班等
		苗間	列間	
スギコンテナ苗	1,800本	約2.4m	約2.4m	8よ、8れ

(平面図)



4. 植付要領

- (1) 植付地点を中心に径7cm、深さ18cm程度の植穴を掘る。
- (2) 苗木の植付けは、根鉢を植穴の底に密着させ、根元部が地表面よりやや低くなるよう垂直に植え付ける。
- (3) 側方は、根鉢と植穴との間に空隙がないように土を入れる。
- (4) 地表部は根鉢が乾燥しないよう土を被せ、倒伏を防止するため、根元を足で踏みしめ、落葉等で被覆する。

5. 作業上の留意事項

- (1) 苗木を深植することは生育不良の原因となるので、充分注意すること。
- (2) 苗木の運搬及び植付の際は、苗木が乾燥又は損傷しないよう充分注意すること。

6. 不良苗木の取扱

作業の実施過程において、選別した不良苗木が発生した時は、生じた不良苗木本数を監督職員に報告し、不良苗木分を請負者の負担により確保すること。

7. その他

その他必要な事項については、監督職員の指示に従うこと。

特 約 条 件

1. 下刈作業において、請負者が切損した苗木の切損率が、条件3に定める許容切損率を超える場合は、その超える率に対応した本数について、発注者は損害賠償を請求することができる。

賠償額は、別に定める賠償基準により計算した額とする。

2. 前項の賠償請求は、最終検査終了後3ヶ月以内に行うものとする。

3. 苗木の許容切損率はつぎのとおりとし、2回刈の場合は2回目終了後の累計切損率とする。

林 齢	1 年	2 年	3 年	4 年以上
切 損 率	3 %	3 %	2 %	1 %

（注）林齢1年は、年度末植及び春植とするが前年の秋植も含むものとする。

以下、これを基準とした林齢による。

下刈作業仕様書

1. 作業方法等

(1) 人力又は人力機械併用による下刈

ア. 全刈

全刈は、区域全面を刈払うこと。

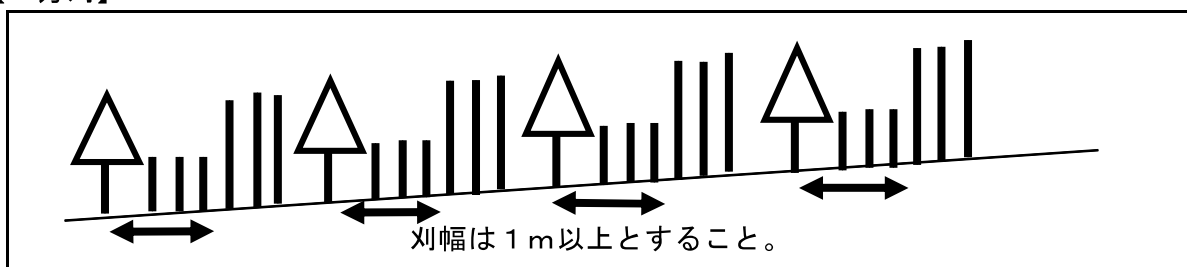
イ. 筋刈

筋刈方法は、下図 ④ とする。

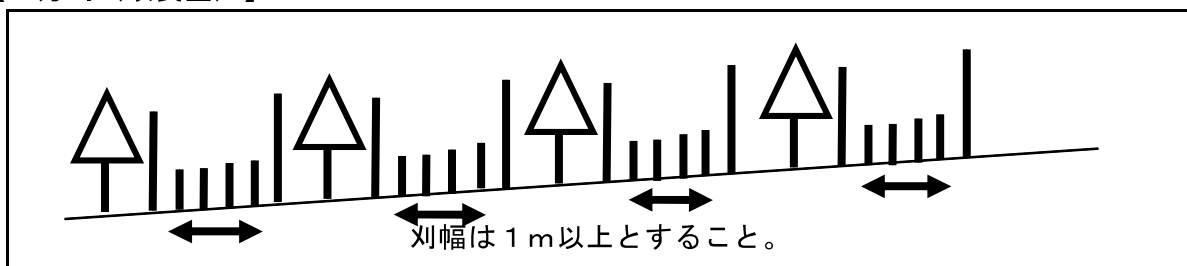
筋刈は現地の状況に応じて等高線刈、又は縦列刈とし、刈幅は1m以上とすること。

現地の状況に応じて、筋刈方法は下図①, ②, ③変更できるものとする。

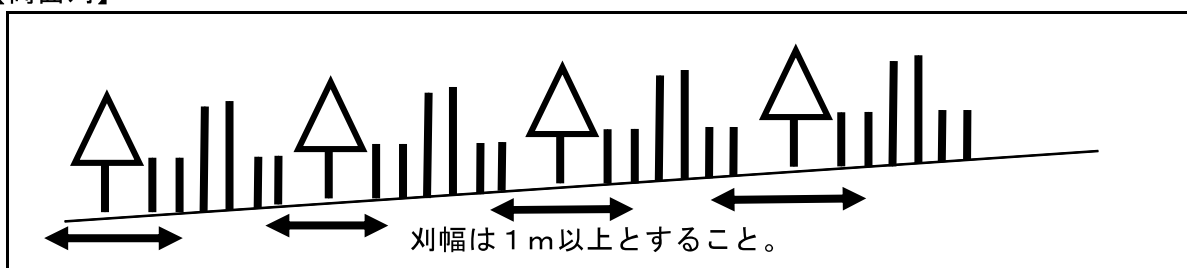
①【一方刈】



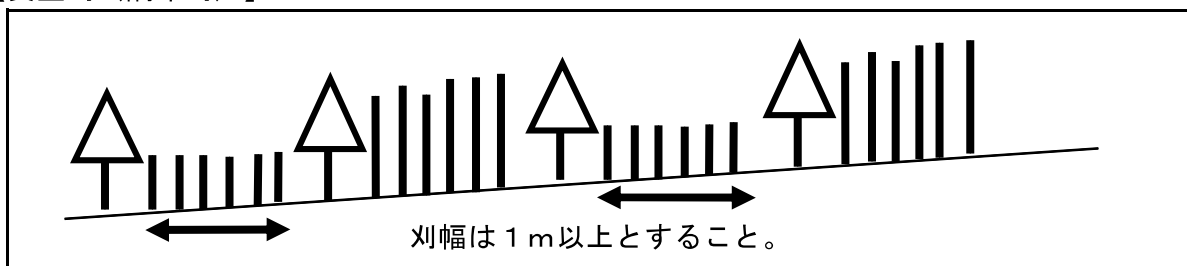
②【一方刈（改良型）】



③【両面刈】



④【交互刈（隔年刈）】



ウ. 坪刈

坪刈は、造林木を中心として、半径〇〇cm以上を刈払うこと。

(2) 除草剤による下刈

除草剤による作業要領は、除草剤使用仕様書のとおりとする。

2. 作業上の留意事項

- (1) 刈払に当たっては、植栽木を損傷しないように注意すること。
- (2) 刈高は、植栽木の樹高の $1/3$ 以下の高さとするが、植付後 1・2 年の箇所は出来るだけ低く刈払うこと。
- (3) 刈払った雑草木等を植栽木に刈掛け、又は、覆いかぶせないよう注意すること。
- (4) 造林木に巻きついているつる類は、確実に根元を切断すること。
- (5) 刈払後は必ず見回り、刈払いもれがないようにすること。

3. その他

その他必要な事項については、監督職員の指示に従うこと。

獣害防止ネットの点検・簡易補修仕様書

（作業の定義等）

- 1 下刈作業時において、既に獣害防止ネットを設置している個所を、受注者が「点検」、「簡易補修」を行うことにより効率的・効果的な獣害対策を図ことを目的とし、ネットの損傷具合について、「異常なし」、「簡易補修箇所」、「簡易補修箇所以外」に区分し点検を行う。

（作業要領）

- 2 具体的な報告の内容については、以下のとおりとする。
 - ① 異常がない場合については、事業図（図面含む）を添付し、「異常なし」等の旨を任意様式で監督員に提出する。
 - ② 簡易な補修箇所を発見した場合については、補修を実施するとともに、完成時に補修を行った箇所の事業図（図面含む）と写真（施工前後）を監督員に提出する。
 - ③ 大規模な補修箇所を発見した場合については、事業図（図面含む）に場所を図示するとともに写真を添付し監督員に速やかに報告する。

（簡易補修の具体的内容）

- 3 ネットの「簡易補修」については、以下の作業とする。
 - ① 支柱の転倒箇所の再設置
 - ② 浮いているアンカーの杭打ち
 - ③ トップロープ及びアンダーロープの再緊張
 - ④ 破損しているネットの結束
 - ⑤ アンカーロープの再緊張上記以外の大規模な補修や鉄製の柵については適用しない。

（補修材料）

- 4 補修に必要な材料については発注者から支給する。

（写真管理）

- 5 点検及び簡易補修の状況については、写真管理を行い事業完了時まで提出する。

（事業日報）

- 6 受注者は事業日報の出役人員の欄に、本件に携わった人工数を出役人員数の内書きとし、（ ）で表記し監督員へ提出する

（作業の留意事項）

- 7 点検時（下刈作業）にネットを損傷させた場合には、受注者が補修する。

林道等の除草作業仕様書

1. 除草作業事業量等は次のとおりとする。

林道等名	作業着手起点	作業終了地点	作業延長	刈払幅	適用
立和名林道	59 に 1 林小班 の地点	59 に 1 林小班 の地点	2,250m	片側 2 m	郡山（森）

2. 発注者が指定した作業着手起点から作業終了地点までの間において、通行の支障となるカヤ等の雑草木及び雑灌木（以下、「雑草木」という。）を刈払うこと。

3. 林道等に造林地が隣接している場合は、植栽傷を損傷しないように注意すること。

4. 刈払った雑草木は、林道等の通行の支障にならないように適切に処理すること。

5. その他の必要な事項については、監督職員の指示に従うこと。

6. 刈払幅は、片側 2 m の両側合計 4 m とする。

特 約 事 項

農林水産省では、専門家による検討等を重ね、今般、野生いのししにおけるアフリカ豚熱（以下「ASF」という）の感染確認時の具体的対応が取りまとめられ、都道府県へ通知されたところ。

A S Fは、A S Fウイルスが豚やいのししに感染することによる発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病であり、ダニによる媒介、感染畜等との直接的な接触により感染が拡大し、有効なワクチンや治療法はなく、発生した場合の畜産業界への影響が甚大であることから、我が国の家畜伝染病予防法において「家畜伝染病」に指定され、患畜・疑似患畜の速やかな届出とと殺が義務付けられている。

このことから、請負者は下記の内容について遵守すること。

記

1. 平時における対応について

山林での作業用の靴の履き分けや、下山時や帰宅時の靴及びタイヤの土落とし等、平時における感染防止対策に協力するとともに、野生いのししの死体発見時には管轄の自治体に速やかに通報し、当該森林管理署へ連絡すること。

2. 感染の疑いが生じた場合の対応

A S F対策として、野生いのししの感染が確認された場合の都道府県が実施する防疫措置に基づき、消毒ポイントにおける消毒の実施や帰宅後の靴底の洗浄消毒等に協力すること。

また、都道府県の行う立入制限等の防疫措置等を踏まえ、事業を一時中止する可能性があること。

なお、一時中止となった場合は、国有林野事業造林事業請負契約約款第 20 条により対応する。

令和7年度 造林事業（地拵外）請負実行箇所 位置図

凡例

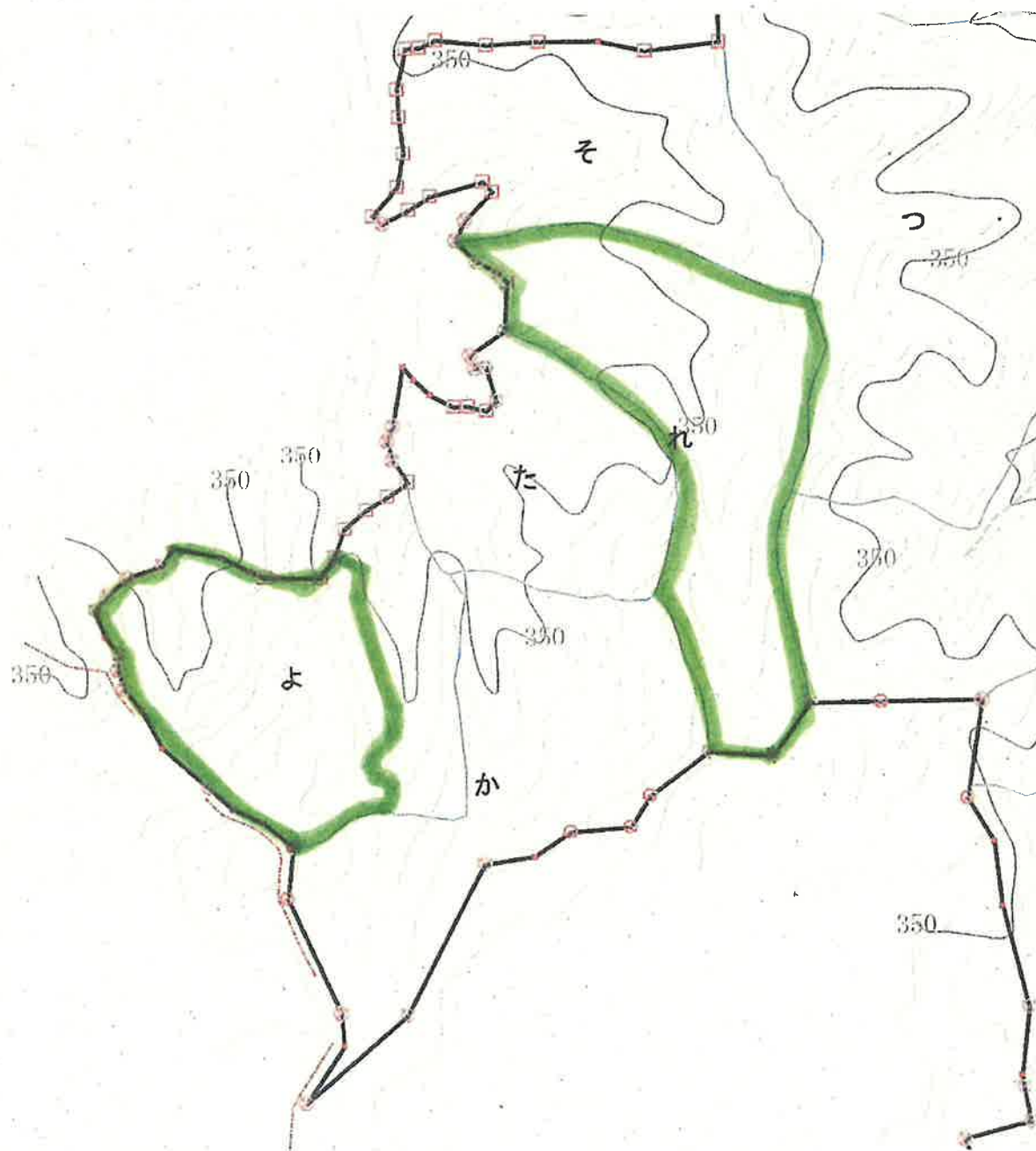
 作業区域

 除 地

 林道・県道等

作成者：農林水産技官 嶋 徹矢

記番	作業種	林小班	区域面積	控除面積	請負面積	作業区分
	地 拵	8よ	2.88		2.88	組合せ
	地 拵	8れ	4.42		4.42	組合せ
小 計			7.30		7.30	
	植 付	8よ	2.88		2.88	正方形植
	植 付	8れ	4.42		4.42	正方形植
小 計			7.30		7.30	



令和7年度 造林事業（下刈作業）請負実行箇所 位置図

作成者：農林水産技官 嶋 徹矢

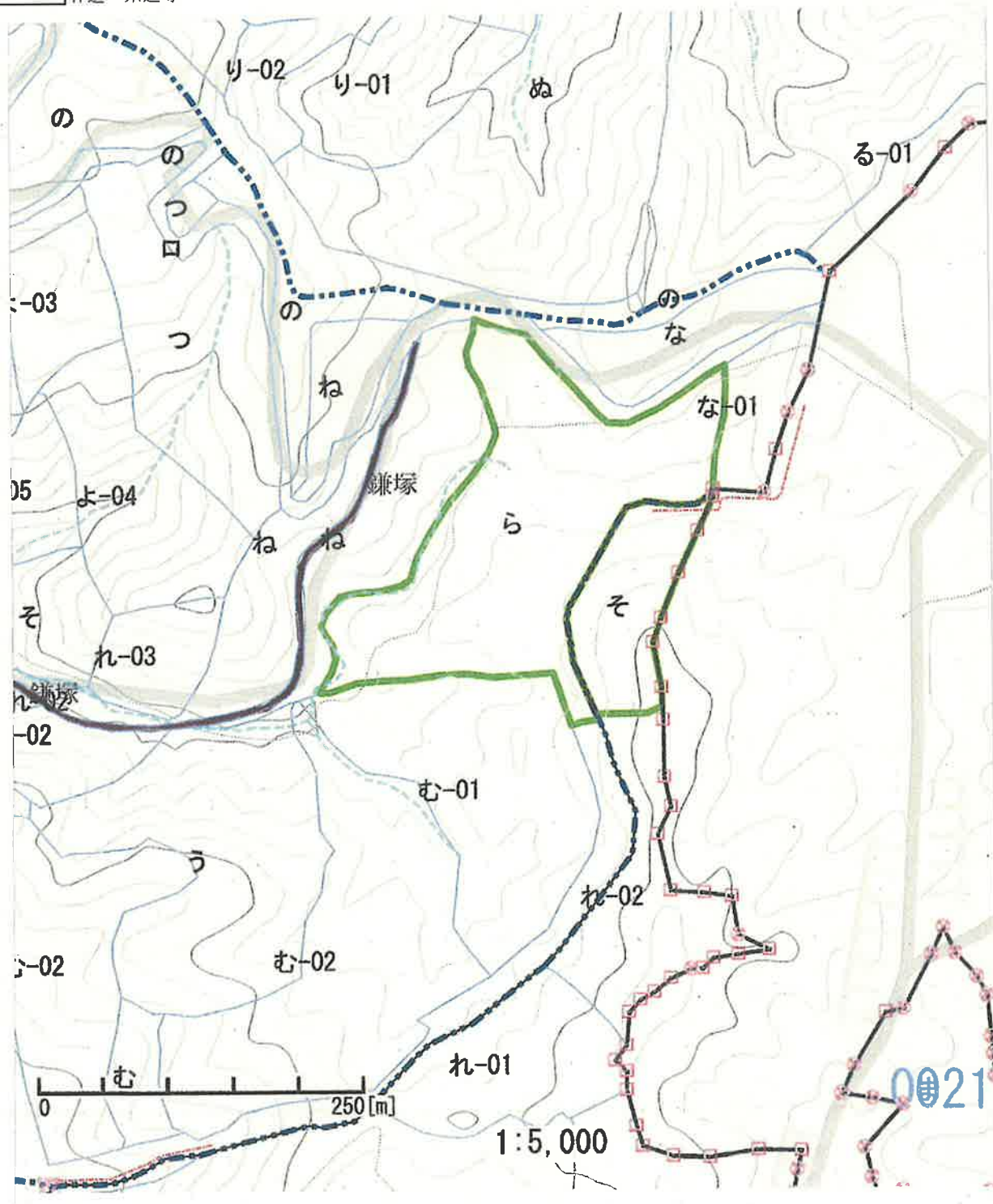
凡例

記番	作業種	林小班	区域面積	控除面積	請負面積	作業区分
	地 拵	22号	1.25		1.25	筋刈 (4)
	地 拵	26号	3.92		3.92	筋刈 (4)
小 計			5.17		5.17	

 作業区域

 除地

林道・県道等



0021

令和7年度 造林事業（下刈作業）請負実行箇所 位置図

凡例

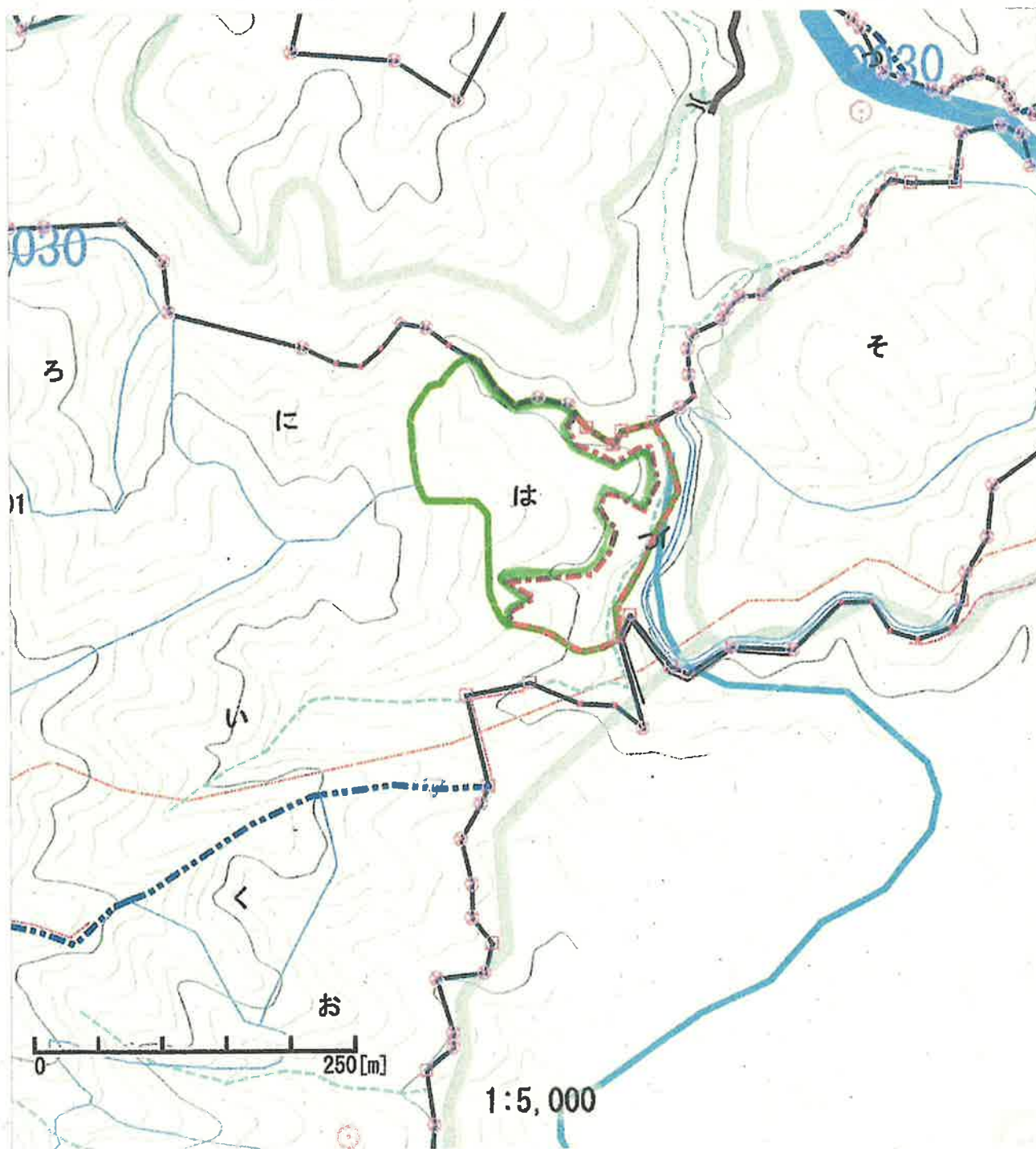
 作業区域

 除 地

 林道・県道等

作成者：農林水産技官 嶋 徹矢

記番	作業種	林小班	区域面積	控除面積	請負面積	作業区分
	地 拵	30は	2.00		2.00	筋刈 (4)
小 計			2.00		2.00	



令和7年度 造林事業（下刈作業）請負実行箇所 位置図

凡例

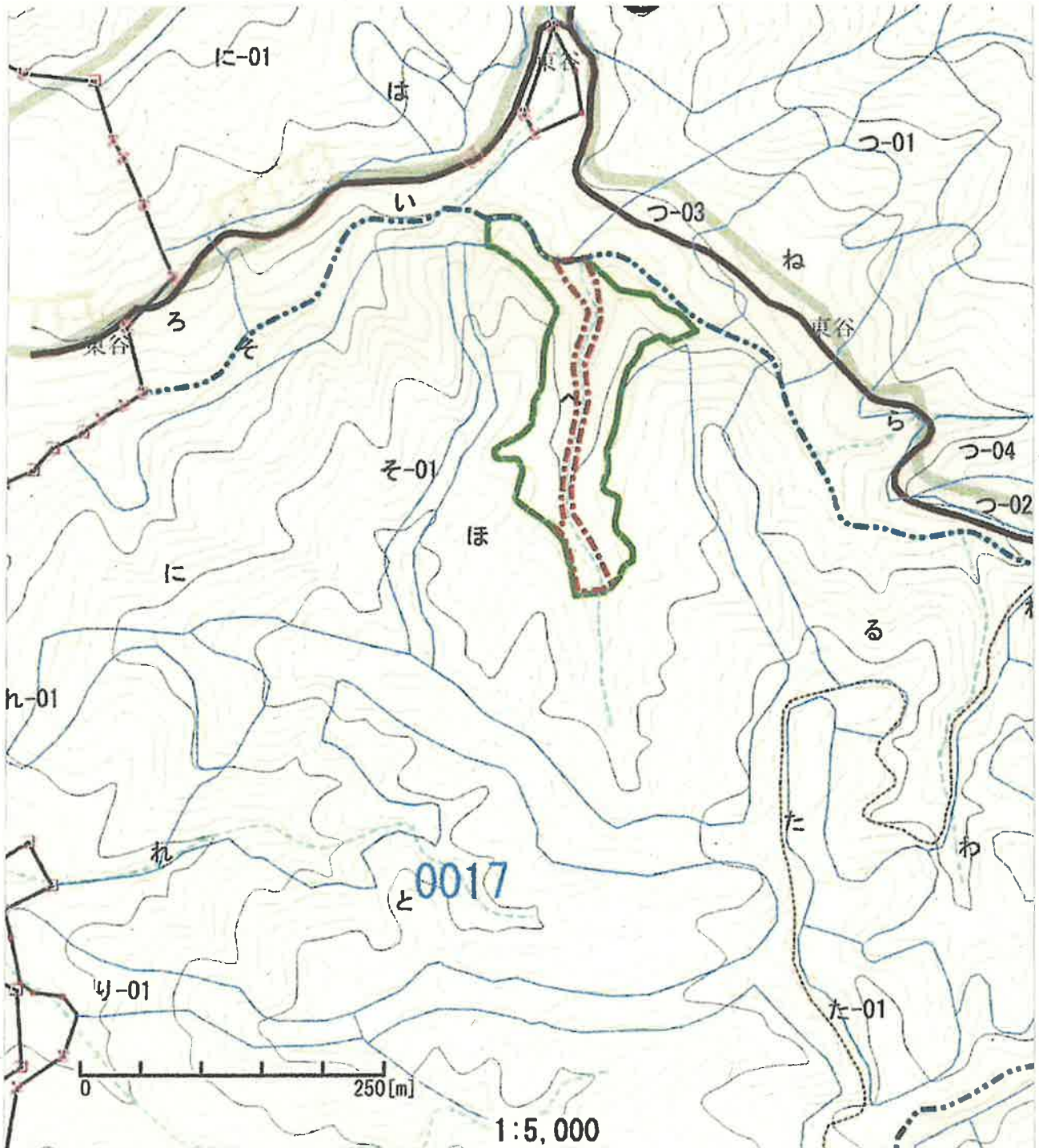
 作業区域

 除 地

 林道・県道等

作成者：農林水産技官 嶋 徹矢

記番	作業種	林小班	区域面積	控除面積	請負面積	作業区分
	地 拵	17へ	1.59		1.59	全刈 (3)
小 計			1.59		1.59	



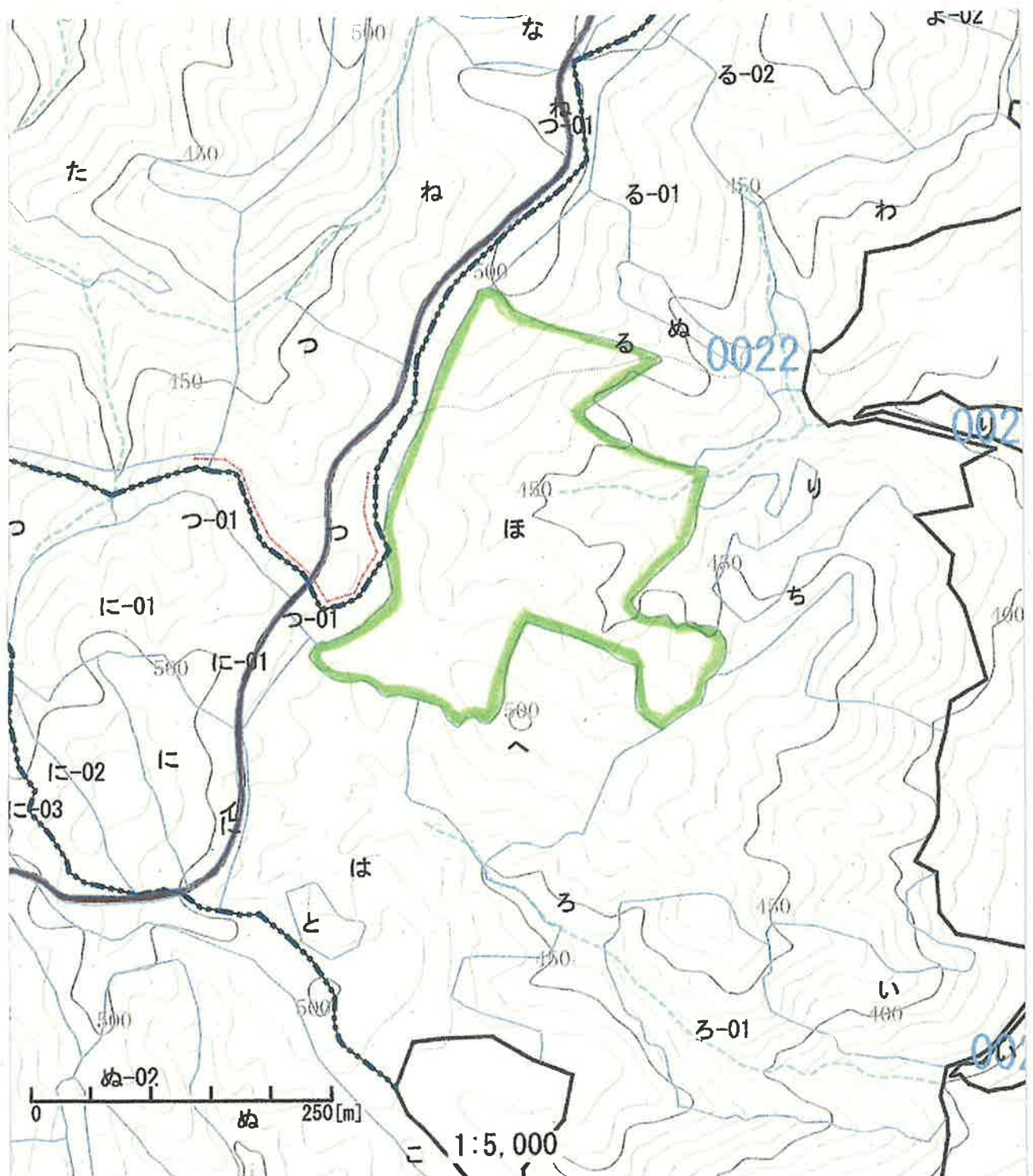
令和7年度 造林事業（下刈作業）請負実行箇所 位置図

作成者：農林水産技官 嶋 徹矢

凡例



記番	作業種	林小班	区域面積	控除面積	請負面積	作業区分
	地 拵	22区	6.94		6.94	全刈 (3)
小 計			6.94		6.94	



令和7年度 造林事業（下刈作業）請負実行箇所 位置図

作成者：農林水産技官 嶋 徹矢

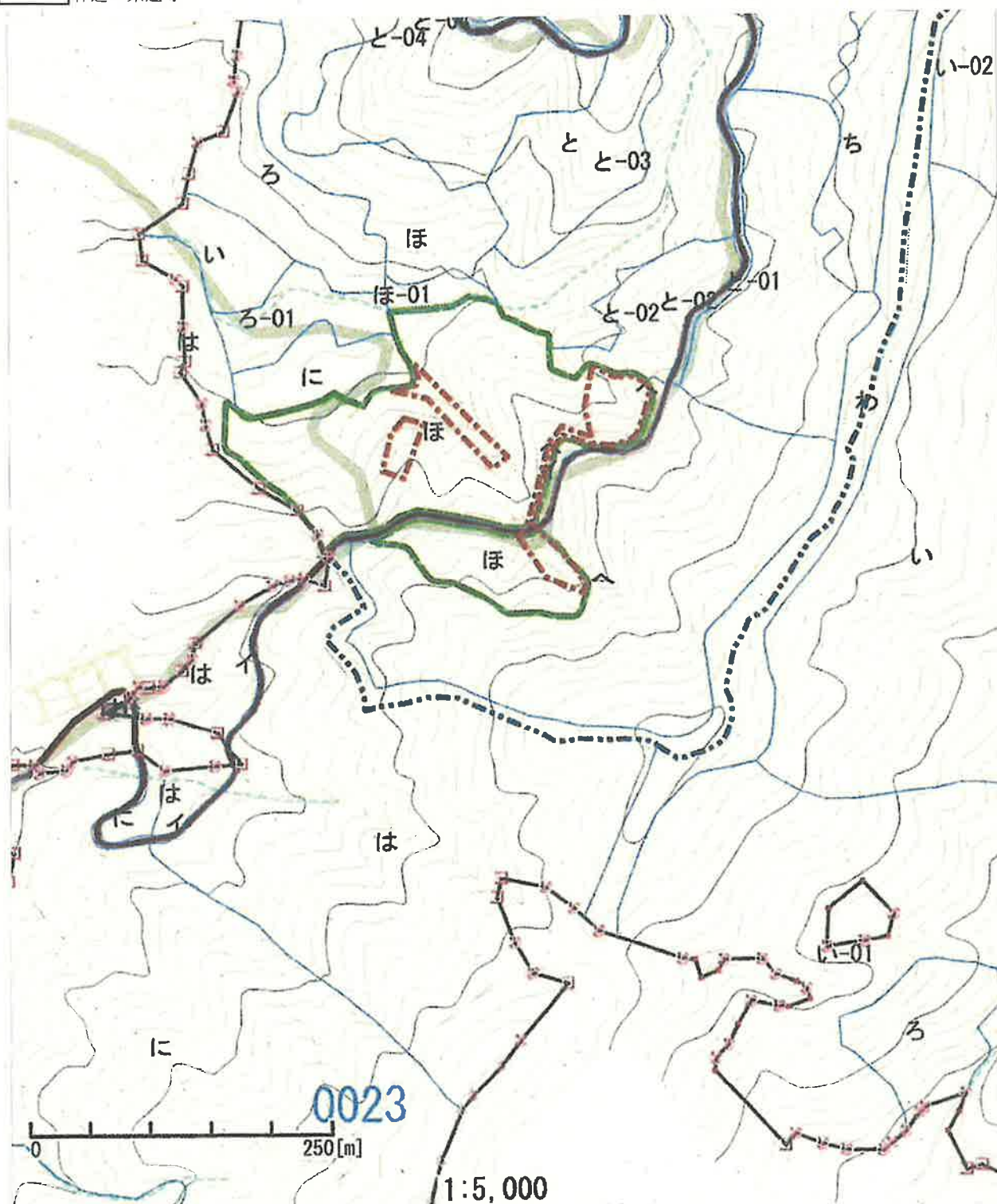
凡例

 作業区域

 除 地

 林道・県道等

記番	作業種	林小班	区域面積	控除面積	請負面積	作業区分
	地 拵	24ほ	4.53		4.53	全刈 (3)
小 計			4.53		4.53	



令和7年度 造林事業（下刈作業）請負実行箇所 位置図

凡例

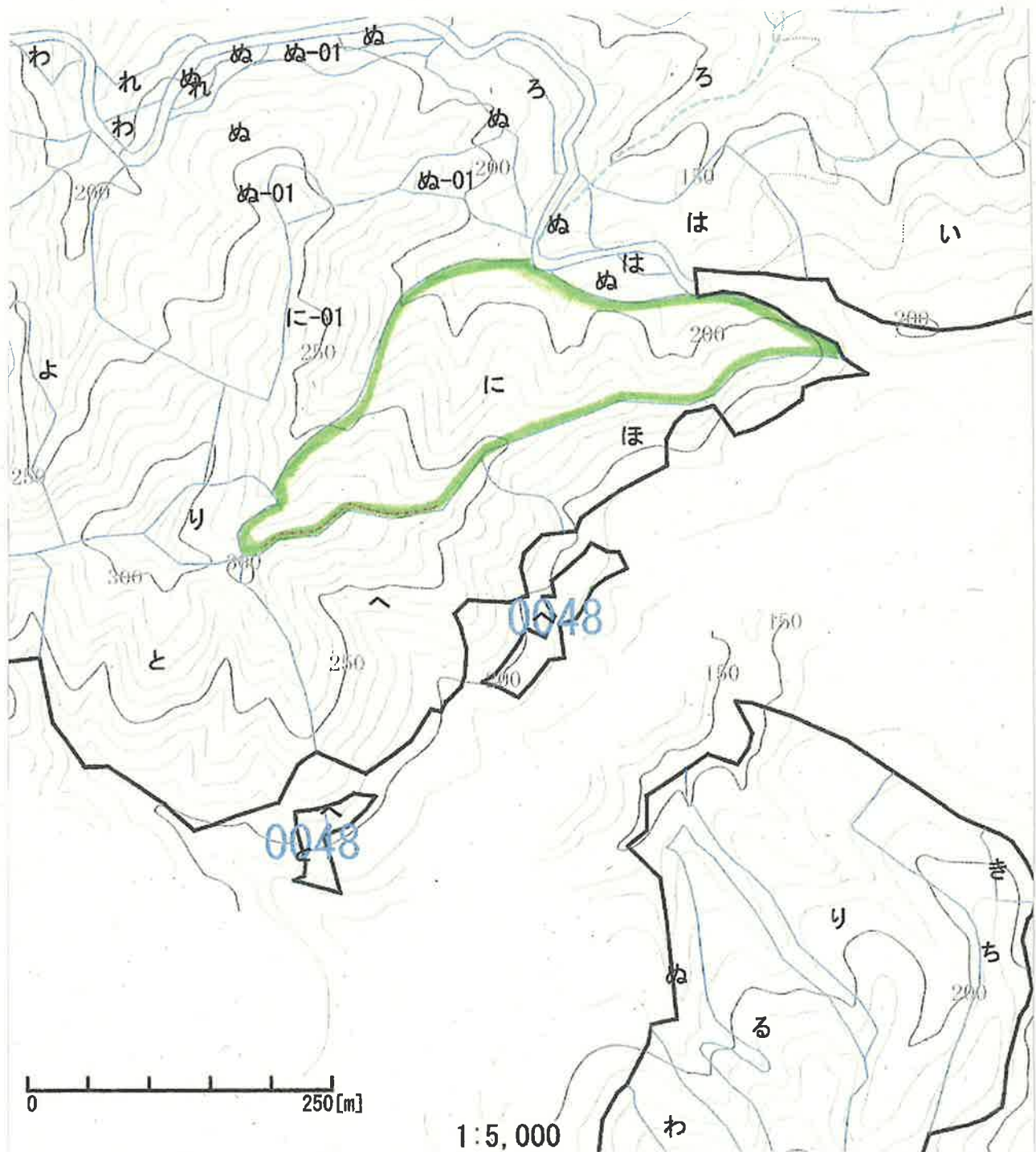
 作業区域

 除 地

 林道・県道等

作成者：農林水産技官 嶋 徹矢

記番	作業種	林小班	区域面積	控除面積	請負面積	作業区分
	地 拵	48に	4.77		4.77	全刈 (3)
小 計			4.77		4.77	



令和7年度 造林事業（下刈作業）請負実行箇所 位置図

作成者：農林水産技官 嶋 徹矢

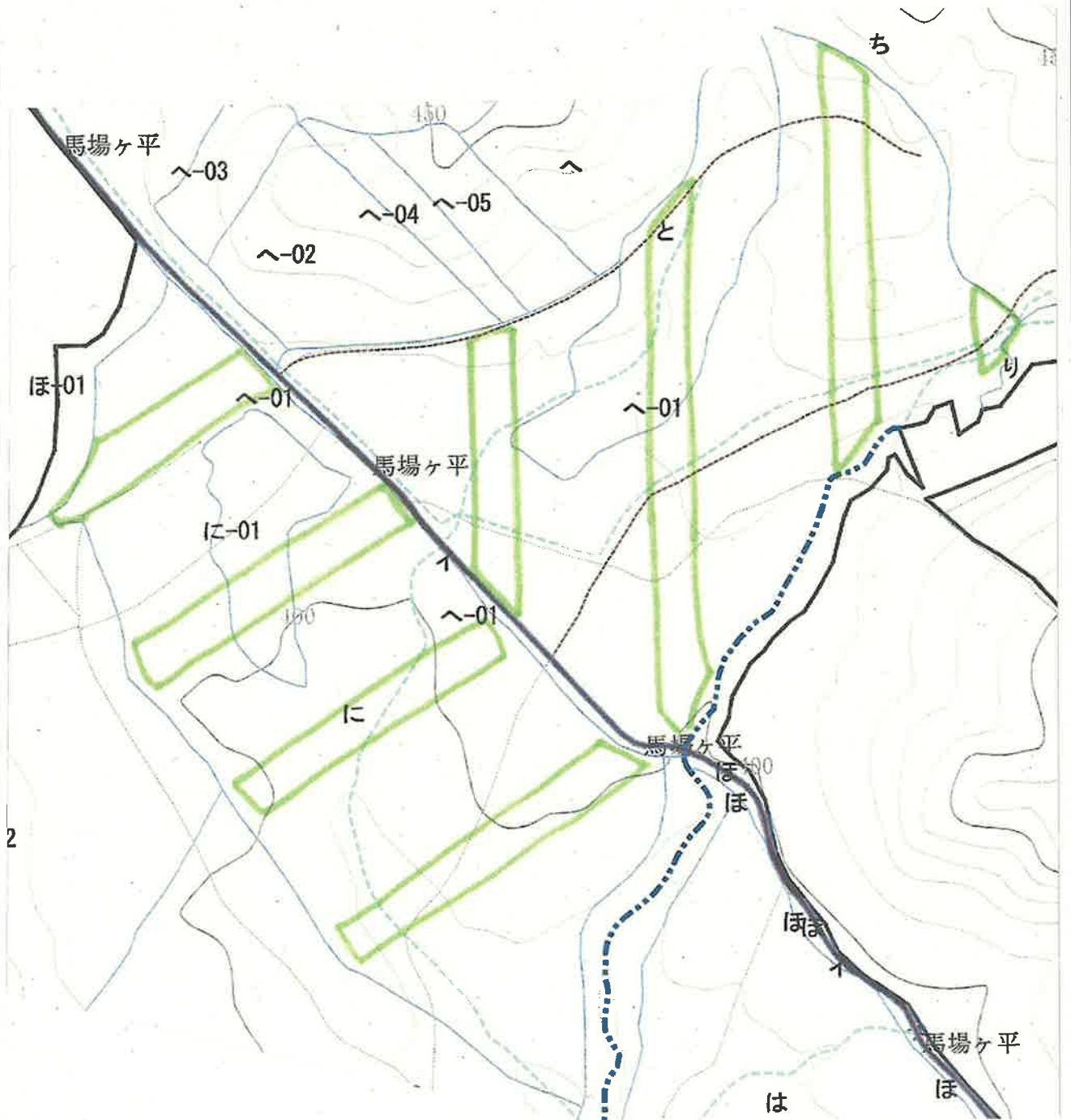
凡例

 作業区域

 除 地

 林道・県道等

記番	作業種	林小班	区域面積	控除面積	請負面積	作業区分
	地 拵	9に	3.49		3.49	筋刈 (3)
	地 拵	9に1	0.27		0.27	筋刈 (3)
	地 拵	9へ1	3.36		3.36	筋刈 (3)
	地 拵	9と	0.59		0.59	筋刈 (3)
小 計			7.71		7.71	



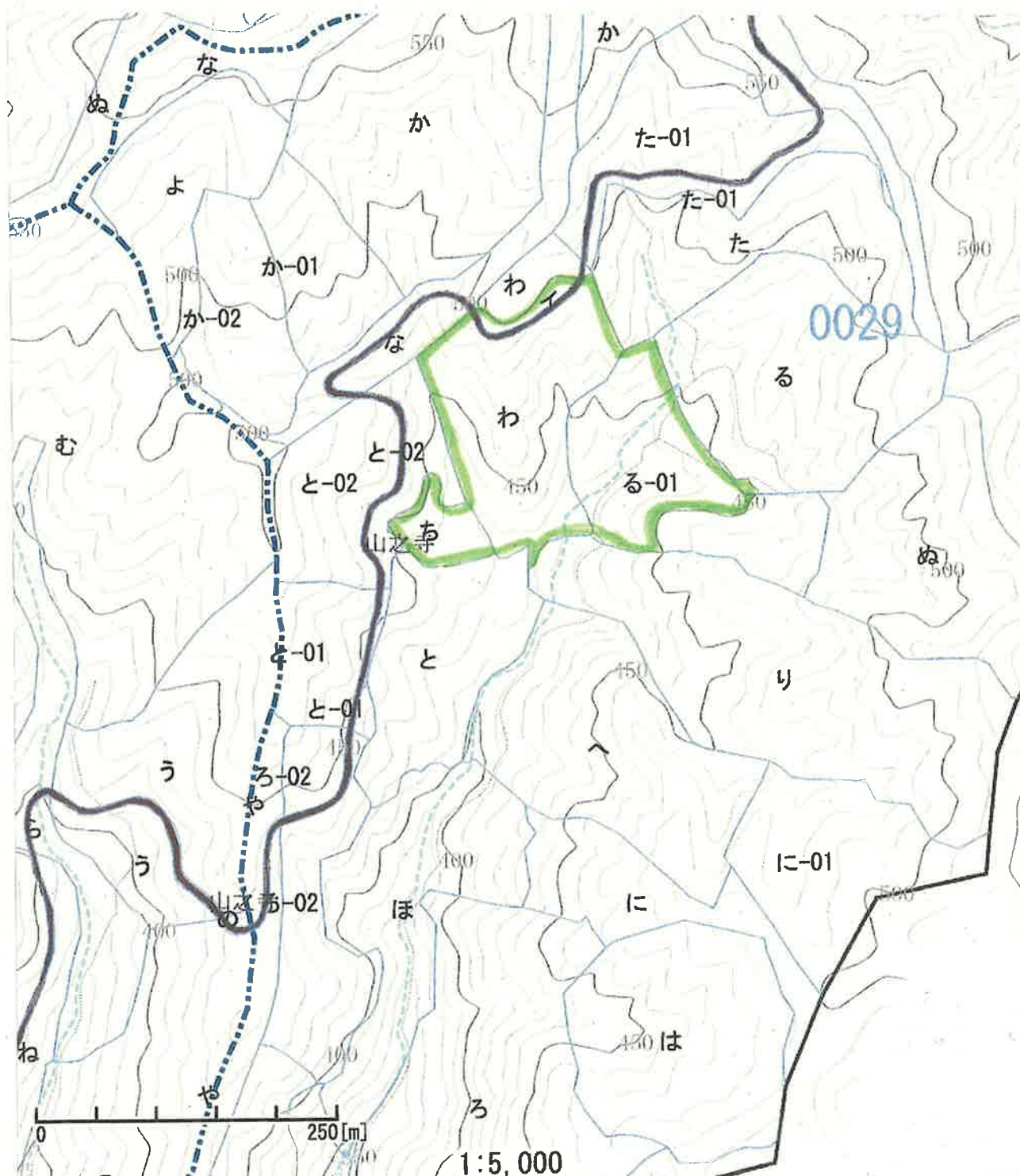
令和7年度 造林事業（下刈作業）請負実行箇所 位置図

作成者：農林水産技官 嶋 徹矢

凡例



記番	作業種	林小班	区域面積	控除面積	請負面積	作業区分
	地 拵	29ち	0.46		0.46	全刈 (3)
	地 拵	29る1	2.62		2.62	全刈 (3)
	地 拵	29わ	2.43		2.43	全刈 (3)
	小 計		5.51		5.51	



令和7年度 造林事業（下刈作業）請負実行箇所 位置図

作成者：農林水産技官 嶋 徹矢

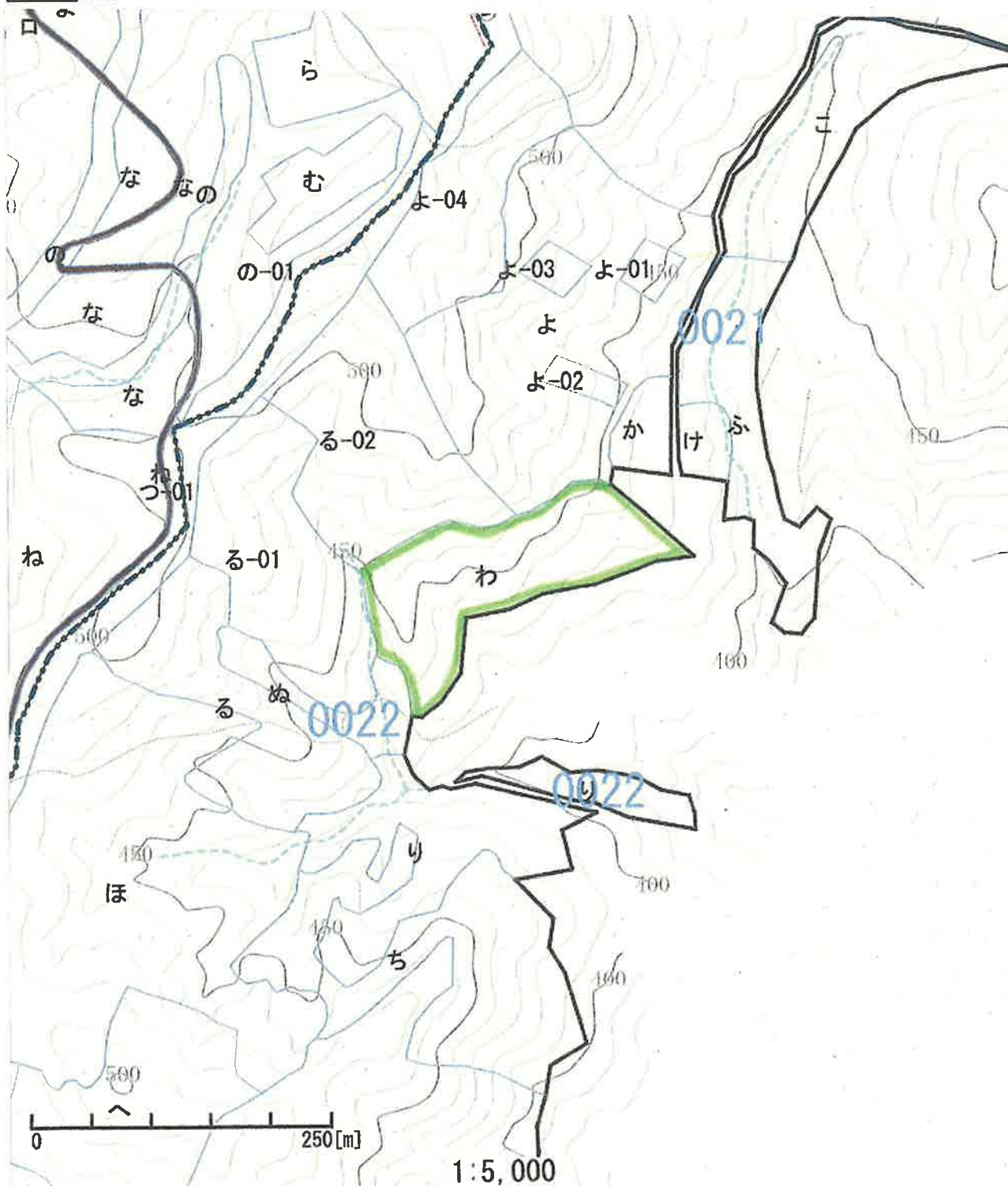
凡例

 作業区域

 除 地

 林道・県道等

記番	作業種	林小班	区域面積	控除面積	請負面積	作業区分
	地 拵	22わ	2.14		2.14	全刈 (3)
小 計			2.14		2.14	



令和7年度 造林事業（下刈作業）請負実行箇所 位置図

凡例

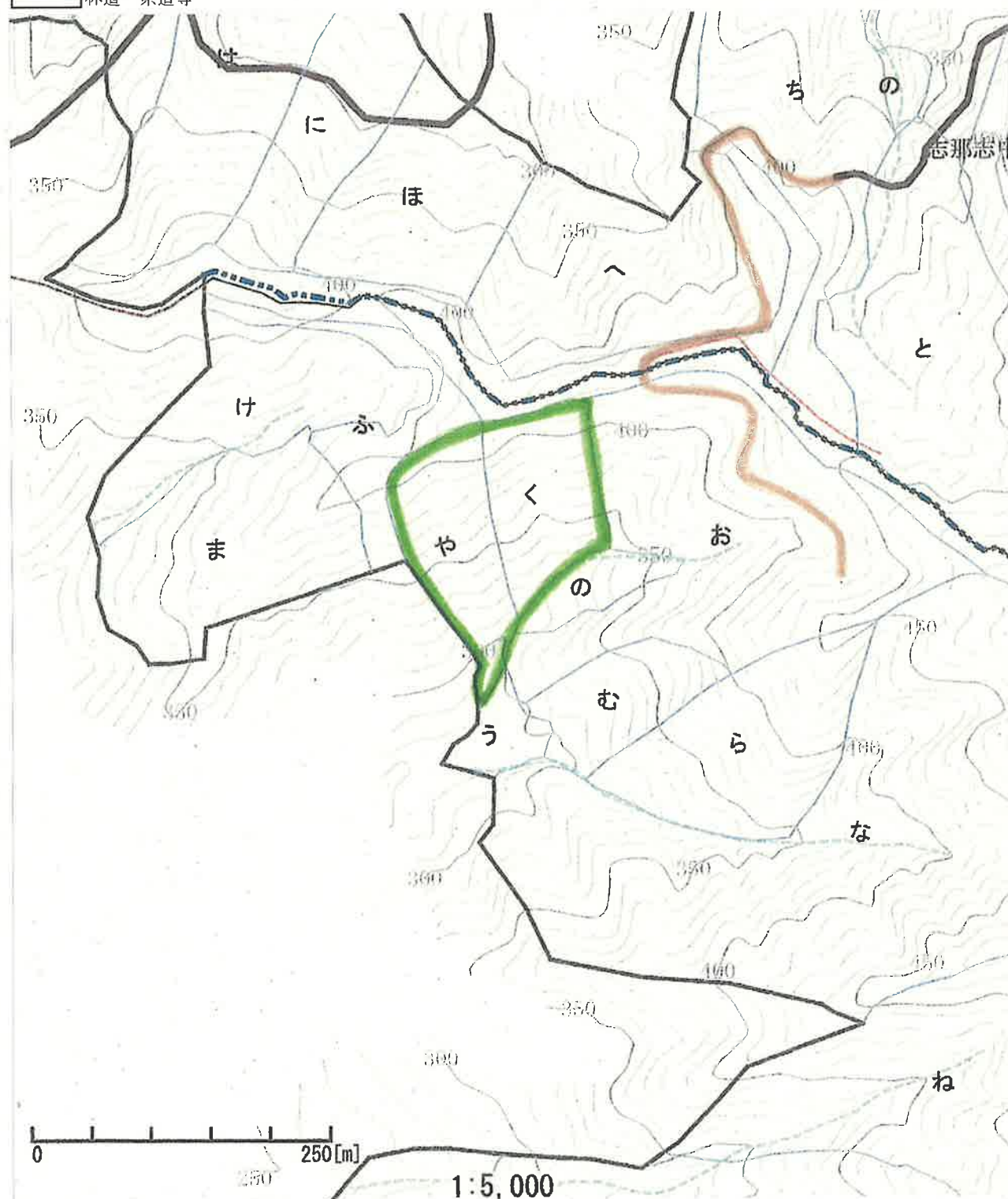
 作業区域

 除 地

 林道・県道等

作成者：農林水産技官 嶋 徹矢

記番	作業種	林小班	区域面積	控除面積	請負面積	作業区分
	地 拵	24く	1.24		1.24	筋刈 (2)
	地 拵	24や	1.11		1.11	筋刈 (2)
小 計			2.35		2.35	



令和7年度 造林事業（下刈作業）請負実行箇所 位置図

作成者：農林水産技官 嶋 徹矢

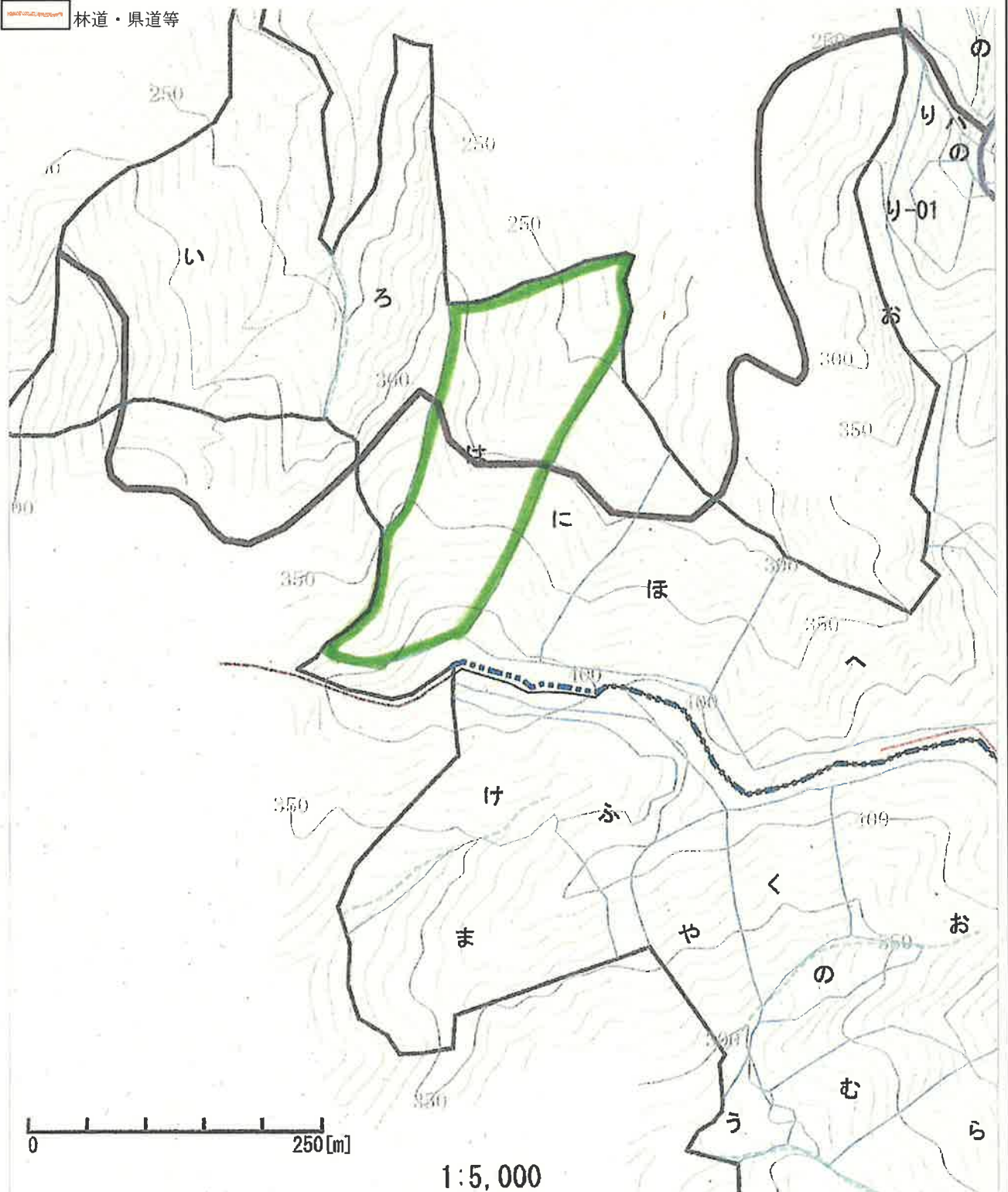
凡例

 作業区域

 除 地

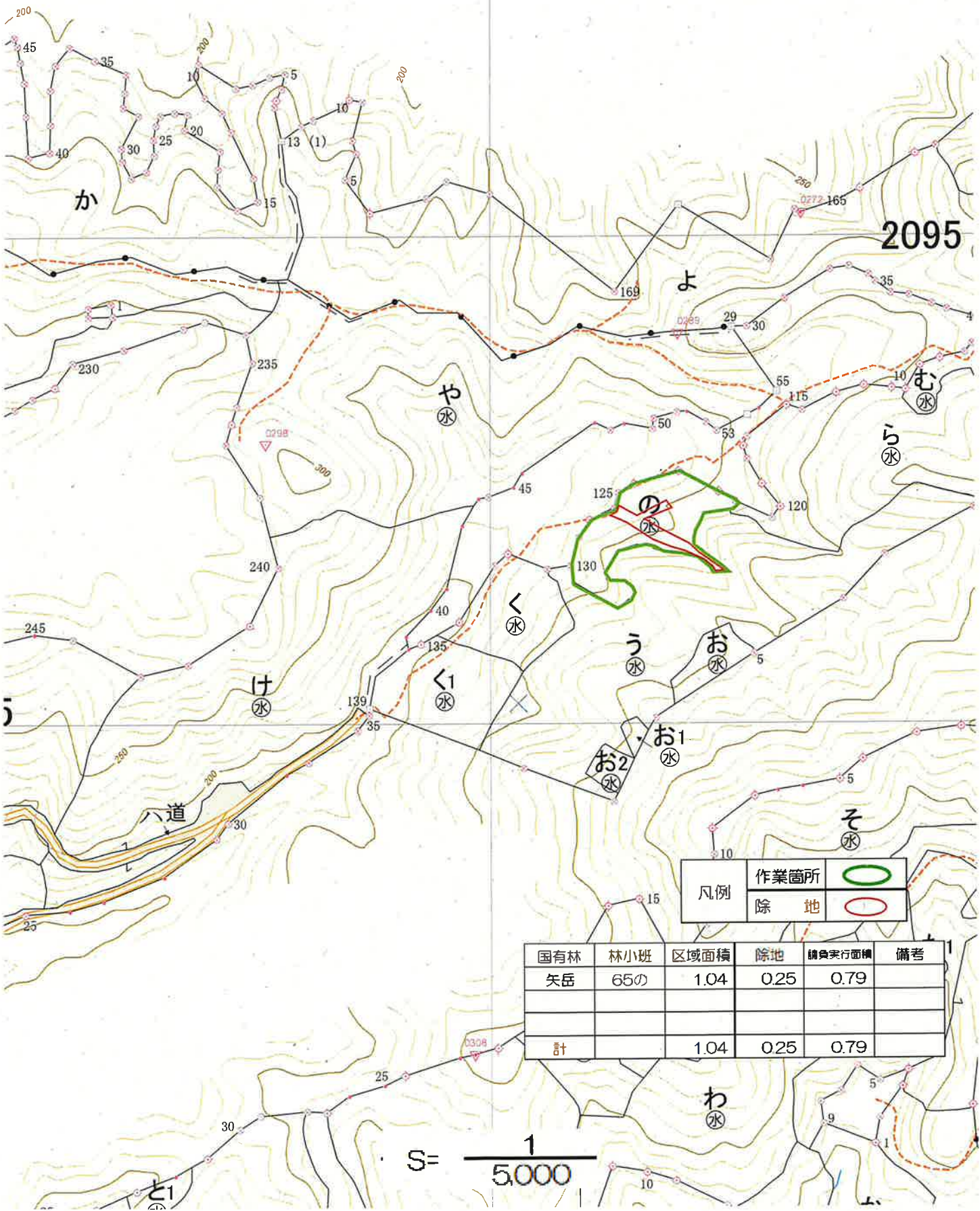
 林道・県道等

記番	作業種	林小班	区域面積	控除面積	請負面積	作業区分
	地 拵	25は	4.08		4.08	筋刈 (2)
小 計			4.08		4.08	



令和7年度 造林事業(下刈) 請負箇所実測図兼位置図

作成者 農林水産技官 松元 正三郎



凡例	作業箇所	
	除地	

国有林	林小班	区域面積	除地	請負実行面積	備考
矢岳	65の	1.04	0.25	0.79	
計		1.04	0.25	0.79	

令和7年度 造林事業(下刈)請負箇所実測図兼位置図

立和名

作業道

凡例

国有林	林小班	区域面積	除地	請負実行面積	備考
立和名	59ほ	1.01		1.01	
〃	59や	4.88		4.88	
〃	59よ	5.19		5.19	
〃	60こ1	1.94		1.94	
計		13.02		13.02	

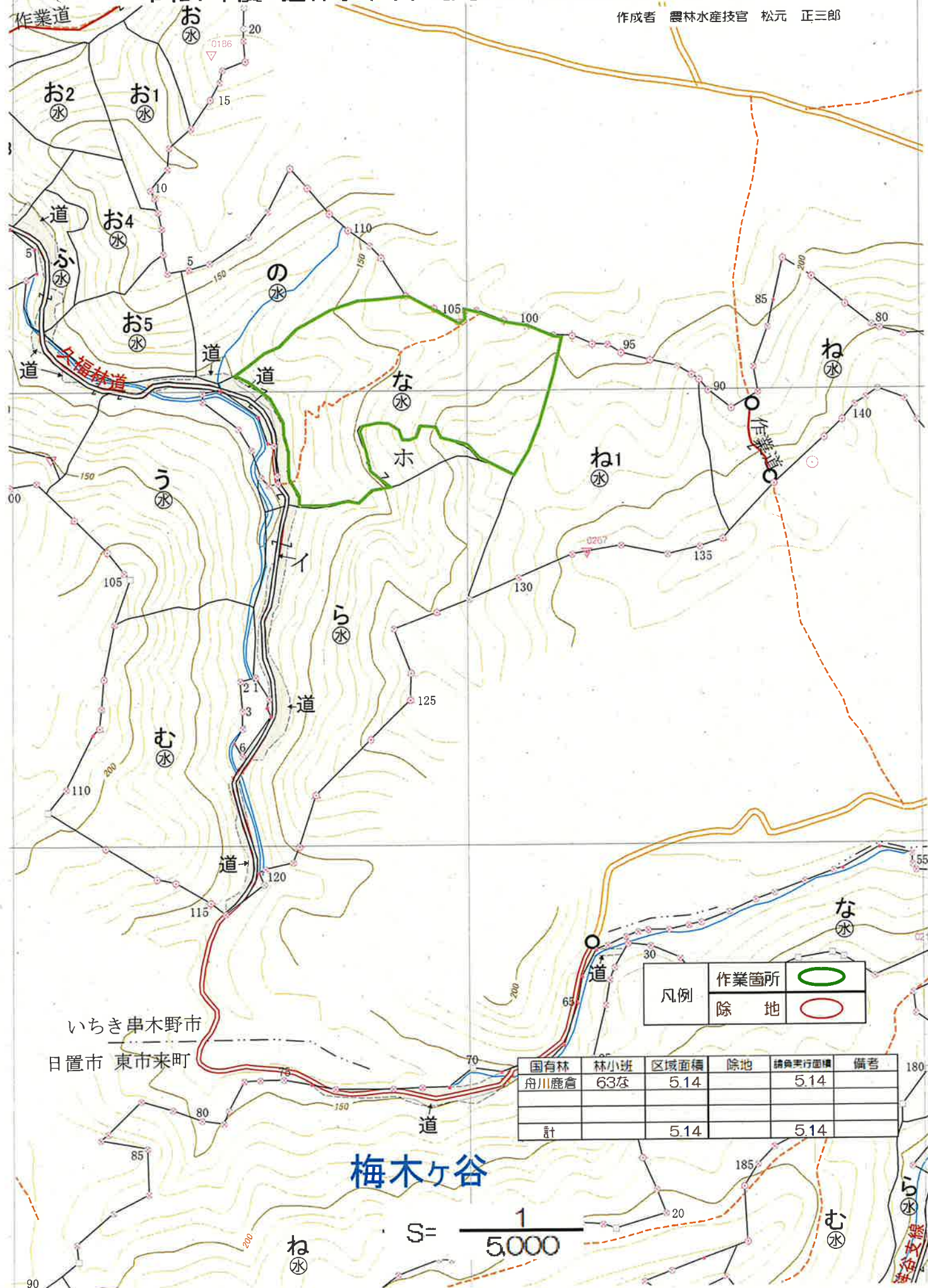
作成者 農林水産技官 松元 正三郎

1:5000

国有林	林小班	区域面積	除地	銷售実行面積	備考
立和名	59ほ	1.01		1.01	
〃	59や	4.88		4.88	
〃	59よ	5.19		5.19	
〃	60ㇿ1	1.94		1.94	
計		13.02		13.02	

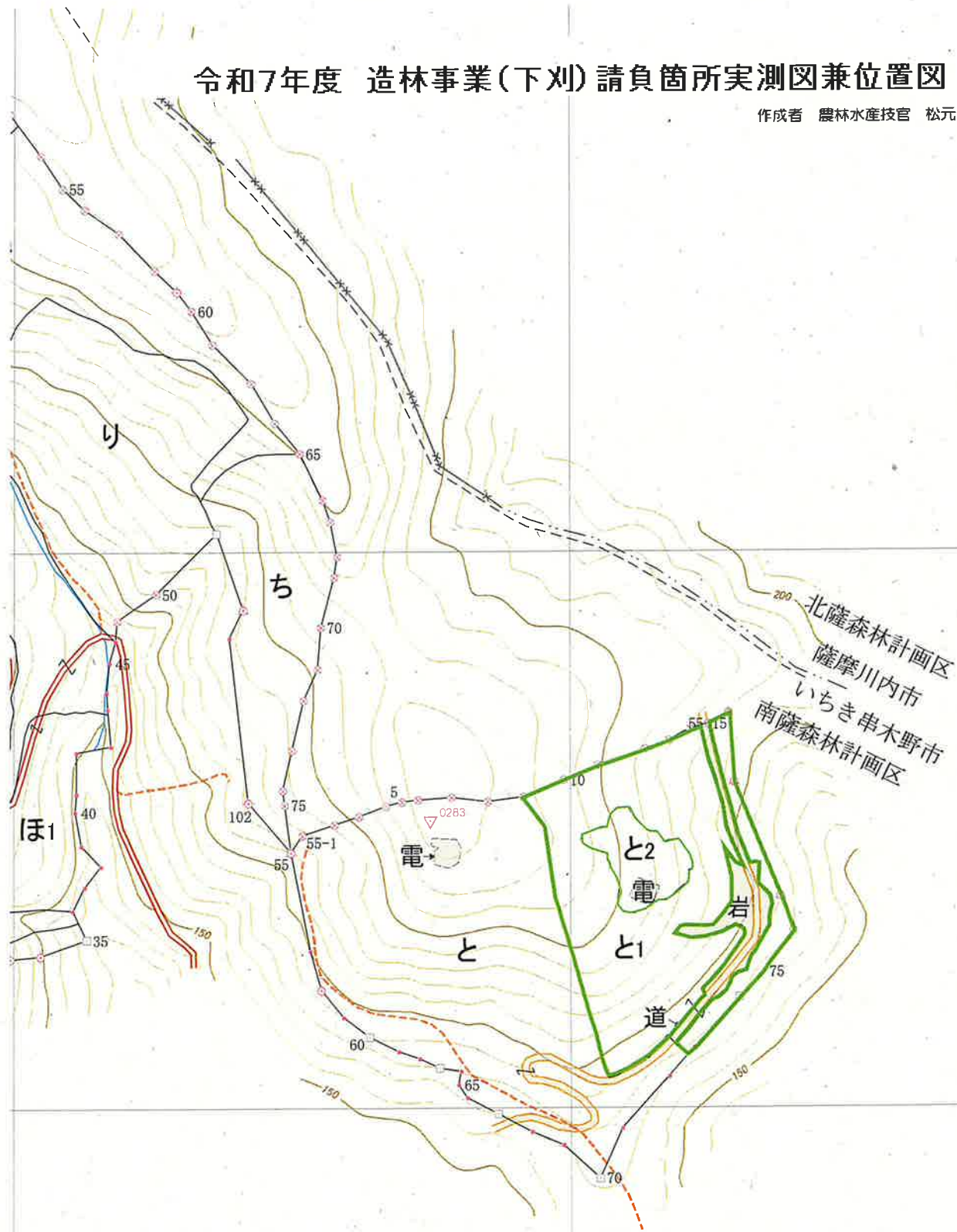
令和7年度 造林事業(下刈) 請負箇所実測図兼位置図

作成者 農林水産技官 松元 正三郎



令和7年度 造林事業(下刈) 請負箇所実測図兼位置図

作成者 農林水産技官 松元 正三郎



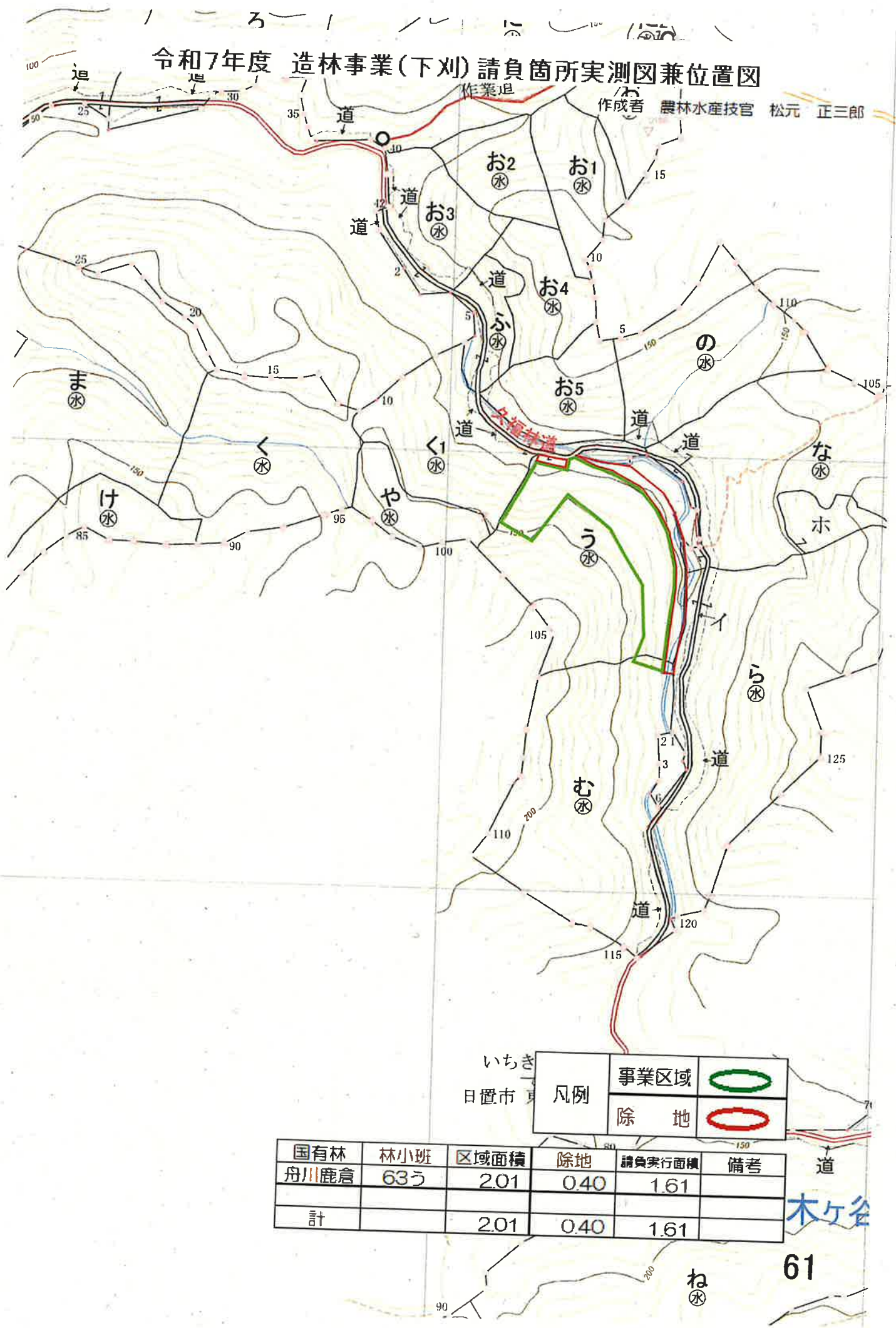
凡例	作業箇所	
	除地	

国有林	林小班	区域面積	除地	請負実行面積	備考
長城	2001と	364		364	
計		364		364	

S= $\frac{1}{5,000}$

令和7年度 造林事業(下刈) 請負箇所実測図兼位置図

作成者 農林水産技官 松元 正三郎



いちき
日置市

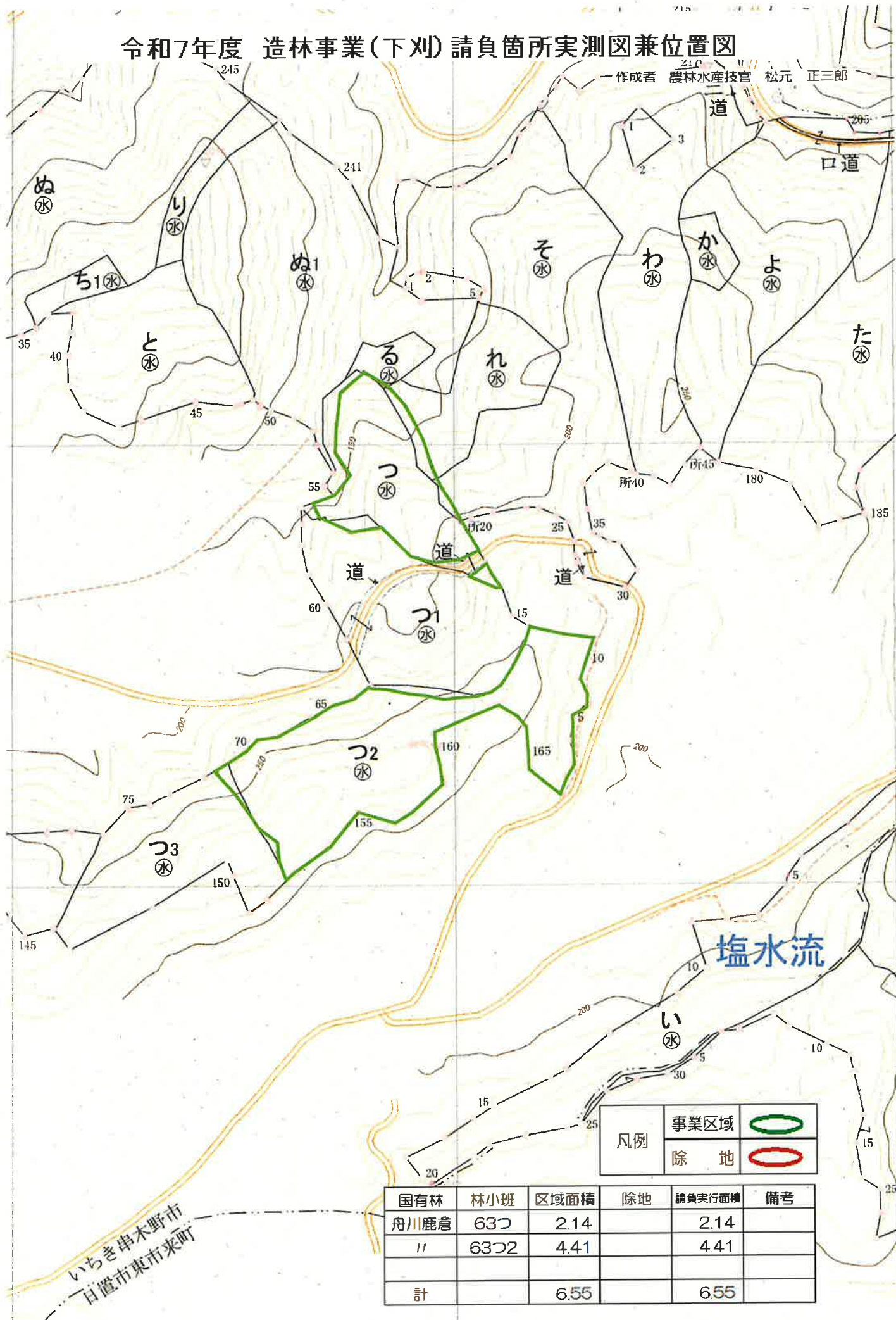
凡例	事業区域	
	除地	

国有林	林小班	区域面積	除地	請負実行面積	備考
舟川鹿倉	63う	201	0.40	1.61	
計		201	0.40	1.61	

木ヶ谷

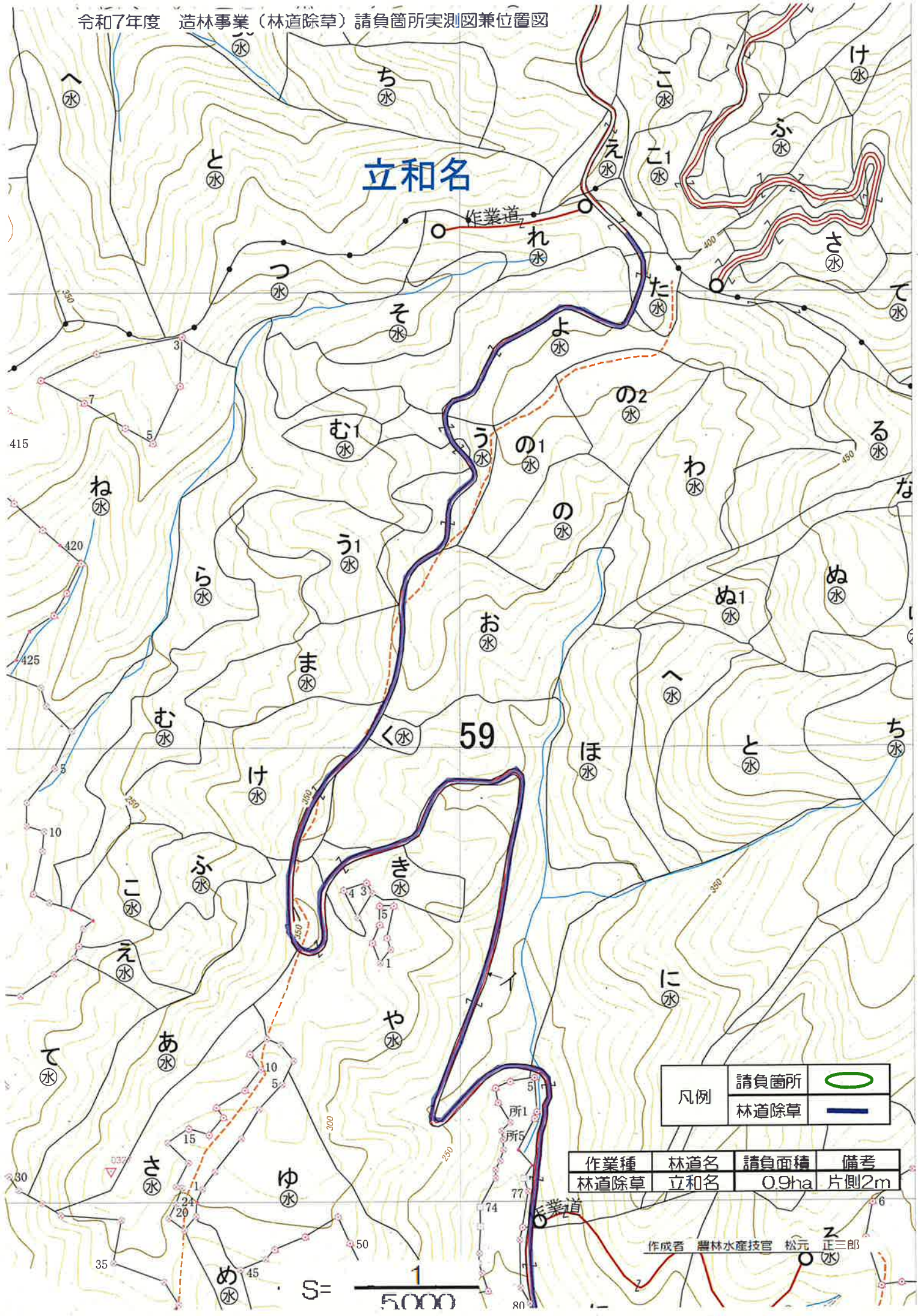
令和7年度 造林事業(下刈) 請負箇所実測図兼位置図

— 作成者 農林水産技官 松元 正三郎



凡例	事業区域	
	除地	

国有林	林小班	区域面積	除地	請負実行面積	備考
舟川鹿倉	63つ	2.14		2.14	
〃	63つ2	4.41		4.41	
計		6.55		6.55	



凡例	請負箇所	
	林道除草	

作業種	林道名	請負面積	備考
林道除草	立和名	0.9ha	片側2m

作成者 農林水産技官 松元 正三郎

S= 1 5000